

ぎふ結のもり

お問合せ | 岐阜県 県庁舎開設準備課

〒500-8570 岐阜県蕨田南2-1-1 TEL058-272-1111 (代) 内線2925 FAX058-278-3540

<http://www.pref.gifu.lg.jp/>



ごあいさつ

岐阜県知事

古田 肇



令和4年7月16日、「ぎふ結のもり」が開園しました。これまで多くの皆様による公園整備へのご理解、ご支援に厚く御礼申し上げます。

この公園は、昭和41年に県庁が岐阜市司町から藪田の地に移転した際、県庁の緑地として整備されたもので、56年が経過し、樹木や施設の老朽化が進んでおりました。

このため、新県庁舎の正面に位置する公園と庁舎とで一体性がある空間とするよう再整備しました。

公園内には、県ゆかりの桜で国指定天然記念物の淡墨桜や中将姫誓願桜を植樹したほか、県内各地の特産の石や植物を配置したレインガーデン、大きさの違う円形の園路やマウンドを配置するなど、ご来園の皆様にお楽しみいただける空間を創り出しています。

工事中様々なご不便をおかけした周辺住民の皆様、公園全般のデザインに懇切丁寧なご指導をいただいた涌井森林文化アカデミー学長、整備工事に創意工夫を凝らし、ご尽力いただいた設計・施工業者をはじめ、関係各位に感謝を申し上げますとともに、「ぎふ結のもり」が、県民の皆様にとって、文字どおり「むすび、いかし、つながる」公園となりますことを切に期待いたします。

新しい公園が県民の皆様と共に親しむ公園として、
末永く活用いただくことを期待し、
「ぎふ結のもり」と命名しました。

世界遺産白川郷では、厳しい自然条件の中、様々な場面で助け合いが必要とされ、白川郷ならではの相互扶助の関係が築かれてきました。

その「結」の心は現代にもしっかりと引き継がれ、

合掌造りの茅葺屋根の葺き替えを、村をあげて協力して行っています。

多くの皆様が「ぎふ結のもり」を訪れ、

人と人、人と自然との新たな結びつきが生まれ、

「清流の国ぎふ」を愛する心や助け合いの精神が育まれることを期待しています。



「ぎふ結のもり」整備の考え方

「ぎふ結のもり」は、新県庁舎の3つの基本方針に合わせて、公園を整備しました。

地域の環境性を高める「グリーンインフラ」の導入

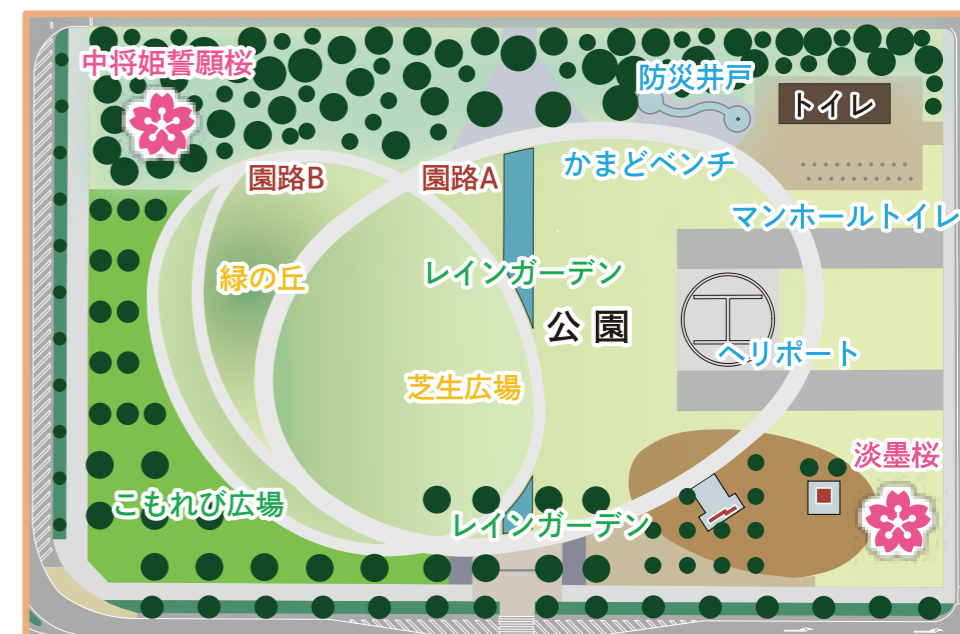
- 雨水の貯留機能を備えた植栽スペースである「レインガーデン」や、保水性のある舗装などから水が蒸発し、涼しい環境を創出する「こもれび広場」などを整備しています。

「清流の国ぎふ」の魅力発信

- 岐阜県の山並みを「緑の丘」に、清流を「レインガーデン」に見立て、公園全体で岐阜県の自然を表現しています。
- 国指定天然記念物であり、樹齢千年を超える「淡墨桜」や「中将姫誓願桜」の2世を植樹しています。

県民の暮らしを守る

- 災害発生時等の有事の際に備え、ヘリポート、防災井戸、マンホールトイレ、かまどベンチの設備・機能を整備しています。



結び、いかし、つながる。

公園内に配置された園路が描く3つのリングは、新県庁舎の3つの基本方針と、「ぎふ結のもり」が人々を「結び、いかし、つながる」場として、共に親しまれる公園になってほしいという思いを込めたシンボルです。



地域の環境性を高める「グリーンインフラ」の導入

グリーンインフラの考え方

グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能な魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取り組みです。

この公園では、このようなグリーンインフラの考え方を取り入れ、地域環境の持続性を確保しつつ、減災・防災に資する様々な機能を備えて整備しています。

レインガーデンといわれる雨水の貯留機能を備えた植栽スペースは、降った雨を自然にゆっくりと地中に浸透させ、自然本来の水循環を図り、都市水害を抑制します。また、公園内の舗装構造は、保水機能を備え、浸透した水分がにじみ出す効果により、周囲の温度を下げることに貢献しています。

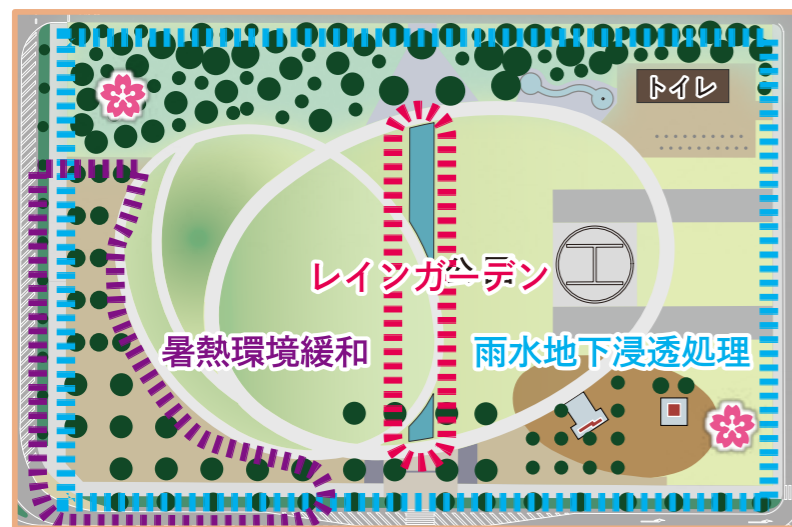
自然本来の循環機能を持つこの公園は、今後、樹木や草花が成長していき、様々な鳥や昆虫などが住み着き、多様な生態系を形成し、減災・防災のみならず、水質浄化や温暖化の抑制など、環境負荷の低減に寄与します。



レインガーデン

雨が降った際、雨水を一時的に貯め、ゆっくりと地中へ浸透させることができる植栽帯です。雨水の流出抑制や地下浸透などの機能により、自然の水循環を促し、公園を支えるとともに、四季折々の公園の景色を美しく彩ります。

植栽帯には、水の流れの部分を県内の清流に見立て、各地域特産の石と、各地域（上・中・下流部）に定着している樹種を配置し、岐阜県の特徴ある風景を表現しています。

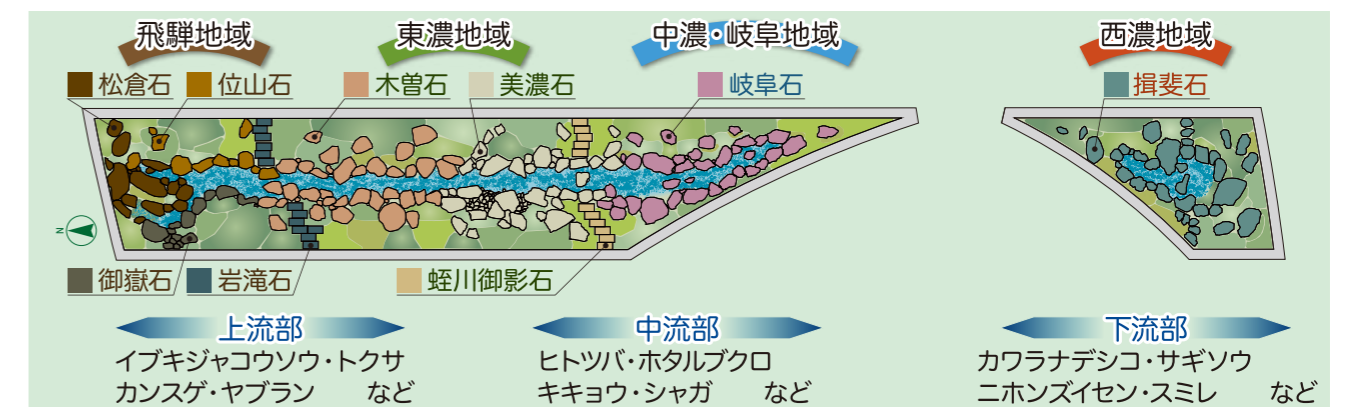


【雨水地下浸透処理】

公園周囲の地中に浸透トレンチや浸水ますを設置することで、雨水を地中へ浸透させます。

【暑熱環境緩和】

保水力のある舗装や基盤を整備することで、雨水の流出抑制や良好な植栽基盤が確保され、加えて雨水が舗装から蒸発することにより暑さが緩和します。





こもれび広場

植栽されたケヤキをサークル状に囲んだベンチが点在しています。

ケヤキが自然の天蓋となり、心地よい空間を演出します。

公園の舗装構造には、保水力のある素材を用いており、雨水が舗装からにじみ出し、
周囲の暑さを和らげ、夏期の暑熱環境緩和に貢献します。



夜には、あたたかな灯りが
点在する「あかりの広場」となり、
昼とは異なる幻想的な
景観を創り出します。

「清流の国ぎふ」の魅力発信

県ゆかりの桜

淡墨桜 (うすすみざくら)

淡墨公園 (本巣市) にある樹齢 1500 年以上の
ねおだにうすすみざくら
「根尾谷淡墨桜 (国指定天然記念物)」の種子を、
さのとうえもん
桜守として知られる第 16 代佐野藤右衛門氏が
現地を訪れた際に持ち帰り、京都市の自宅の庭で
育てられた桜です。令和 4 年 2 月に佐野藤右衛門氏
によってこの地に移植され、34 年ぶりの里帰りと
なりました。



中将姫誓願桜 (ちゅうじょうひめせいがんざくら)

がんにょうじ
願成寺境内 (岐阜市大洞) にある樹齢 1200 年以
ちゅうじょうひめせいがんざくら
上の「中将姫誓願桜 (国指定天然記念物)」を
接ぎ木して育てられた桜です。令和 4 年 1 月に
中将姫誓願桜保存会から寄贈いただき、
この地に移植しました。

緑の丘

公園の景観に起伏をつくるマウンドは、岐阜県の山並みを表現しています。
スロープの傾斜は子どもの遊び場やイベント時の客席として利用できます。

芝生広場

周囲にリング状の園路を配し、回遊性を持たせた広場では、イベントや遊び、健康づくりなど様々な活動の場として利用できるオープンスペースです。



県民の暮らしを守る

「ぎふ結のもり」には、災害時に備えた設備を整備しています。
災害が発生した際に、身を守るために一時的に避難する場所として、
岐阜市より「指定緊急避難場所」に指定されています。



ヘリポート

防災ヘリポートとして、大規模災害時の緊急消防援助隊の受入れ、
県災害対策本部要員等による被災地視察の際のヘリポートとして利用されます。



防災井戸

災害によって断水した場合に生活
用水として使用できます。



マンホールトイレ

マンホールのふたを開け、その上
にトイレを設置することで、非常用の
トイレとして使用できます。



かまどベンチ

普段はベンチとして使用され、災害
時には座板を外して「かまど」とし
て使用できます。

公園概要

所在地	岐阜県岐阜市藪田南 2-1-1			
面積	約 14,800 m ²			
主な空間構成	園路A	長さ 270m	園路B	長さ 216m
	園路A内	約 4,000 m ²	園路B内	約 3,000 m ²
	こもれび広場	1,500 m ²	レインガーデン	200 m ²

